

2006年8月2日

ニューヨーク証券取引所上場5周年を記念し、式典を開催



中央が社長 永守

本年9月27日、当社は世界最大の株式市場であるニューヨーク証券取引所（NYSE）上場5周年を迎えます。これを記念し、去る8月1日（火）午後4時（米国東部時間）、当社代表取締役社長兼最高経営責任者永守が同証券取引所において1日の商いの終わりを告げるクロージング・ベルを打鐘しました。当日ベル・ポディウムへは永守の他、当社副社長兼最高財務責任者鳥山およびIR担当責任者、NYSE経営陣が登壇し、米国資本市場における当社の将来に渡る安定成長を祈念しました。日本企業では15社目のNYSE上場企業（Symbol: "NJ"）となった2001年以来、当社はADR（米国預託証券）時価総額を着実に伸ばし続けています。

この後開催されたレセプションにおいて永守は「5年前の上場直前に9/11同時多発テロが発生した。NY入りを反対する声もあったが、決めたからには必ず実行するのが当社のポリシーなので延期はせず、乗客がいないガラガラのジャンボジェットに載ってNYを訪れた。テロ直後の救出活動中に多くの同僚を失った地元の警察官・消防士の諸君とともに初めてベル・ポディウムへ登ったときのことを思い出す。当社の上場を記念するオープニングベルは彼等に押しもらった。そして今日、上場5周年を祝うクロージングベルを自ら鳴らし改めて感慨を噛みしめている。この5年間で売上げは3倍、営業利益は5倍、時価総額も5倍になり、NYSE上場と共に当社の成長が加速したといってもよい。」と上場当初を振り返りました。

以上